

奈良カレッジズ構想の推進・取組

Strategies for the establishment of "NARA Colleges"

●「奈良カレッジズ構想」とは

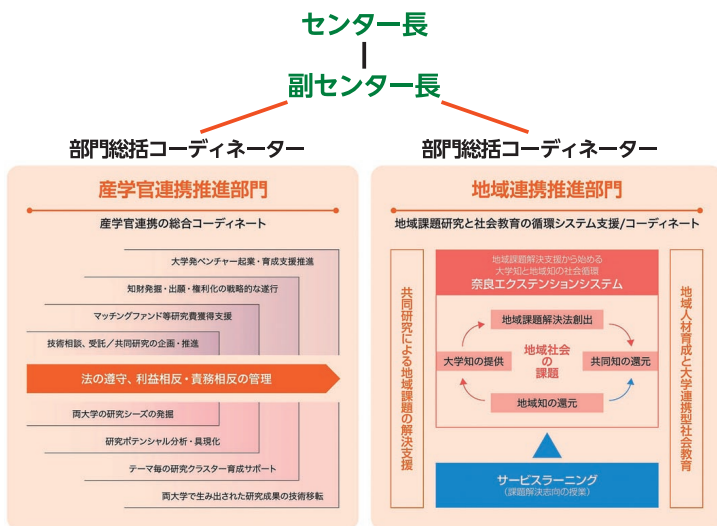
奈良教育大学および奈良女子大学を運営する法人の統合によるスケールメリットおよびシナジー効果を活かして、奈良県および関西文化学術研究都市等の近隣地域に位置する研究機関、教育機関、企業、自治体等との連携・協働体制を構築し、それぞれの強みや人的・物的資源の交流による教育研究インフラの強化を図ることで、「高等教育の新たな総合化」を目指す構想です。



●奈良カレッジズ連携推進センター

上記「奈良カレッジズ構想」の実現に向け、奈良国立大学機構の下に奈良カレッジズ連携推進センターを設置しました。センターには産学官連携推進部門と地域連携推進部門の2つの部門を設け、機構が運営する奈良教育大学および奈良女子大学と学外機関との産学官連携事業・地域連携事業の推進を図ります。これにより、地域や社会が抱える課題解決に向けたイノベーション創出や、連携による成果の教育研究および社会への還元に取り組めます。

奈良カレッジズ連携推進センター



最近のトピックス

Topics

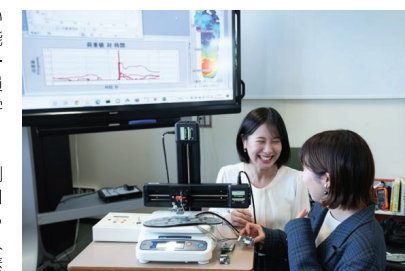
●「奈良国立大学機構」を設立。

奈良教育大学と奈良女子大学は令和4年4月に法人統合し、国立大学法人「奈良国立大学機構」を設立しました。新法人の下、奈良女子大学は、奈良教育大学とともに、それぞれ異なる強みを相互に提供しあい、これまでにない新しい国立高等教育機関として、教育面・研究面の機能強化を図ります。また、新法人が核となり、奈良県下の国立教育・研究諸機関、関西文化学術研究都市や地域の企業との連携体制を構築し、高等教育の新たな総合化（奈良カレッジズ）を目指していきます。



●令和4年4月、日本の女子大学初となる「工学部」を設置。

理工系人材の養成に対する社会の要請に応えるため、幅広い教養や基礎的な知識に立脚する応用力とコミュニケーション能力を兼ね備え社会にイノベーションを起こす工学系女性リーダーの育成を目指し、令和4年4月に新たに工学部工学科（入学定員45名）を設置しました。これは、私立も含めた日本の女子大学では初の工学部設置となります。



本学部では、奈良女子大学の伝統的な学問「家政学・生活科学」に根ざし、生産し供給する側からではなく、生活し需要する側から「ものづくり」を捉える奈良女子大学ならではの工学を目指しています。学問分野として、デバイスで計測した人間からの情報を処理して個人に適応したモノやサービスを創出する「人間情報分野」と、快適な住環境や社会環境を実現するための素材やデザインを創出する「環境デザイン分野」の二つの分野を設け、学生はそれぞれの分野で専門知識と技術を学修します。また、学生の主体的な学びを育むために、幅広い選択肢の中から履修科目や履修年次を学生が自律的に決められることや、異分野との協働力を涵養するためのPBL科目を導入するとともに、カリキュラムマップに基づくポートフォリオを作成し学生の成長を可視化することにより教員が適切に指導助言し、ディプロマポリシーに基づく学びを保証することを特色としています。

●令和4年4月、生活環境学部を改組し「文化情報学科」を設置。

令和4年4月に生活環境学部生活文化学科と情報衣環境学科を改組し、文化情報学科を設置しました。

本学科では、ジェンダー平等に代表される現代社会・人間社会に関する理解とSociety 5.0時代に不可欠なりテラシーである数理・情報を適切に活用する素養を併せ持ち、生活者の視点と文理循環的思考から自ら考え議論をして提言し、豊かで活力ある未来を主体的に創ることが出来る女性人材を育成します。

教育の実施においては初年次に学科共通科目を通じて文理横断・文理循環型教育を行い、高年次に向かうにつれて専門特化させるという方法を取り、学科には生活文化学コースと生活情報通信科学コースの2コースを設けています。

